

広報よもぎた

内 容

- すこやかに育て！蓬田っ子……………2～6
第三回蓬田村連合PTA研修会
- 郷土の歴史・小館遺跡の住人たち……………7
- 話題の広場・雪とのたたかい……………8～9
- くらしのコーナー・ねたきり病人の看護法
戸籍制度・交通災害共済……………10～11
- 水田利用再編第二期対策……………12～13
- 談話室・ヤングメッセージ・子ども会通信
戸籍の窓口……………14～16

NO.137



伝承…ワラ細工

中沢地区では、農村の良さを見直す活動として「むらづくり運動」を実践中です。2月22日には、むらの高齢者・子どもたち・婦人たちが集まり、ワラ細工の伝承会を開きました。ワラを穂で打つのも、縄をなうのも、子どもたちは初めて。昔話コを交えながらの長老たちの指導は、とてもなごやかなふん囲気をつくり出します。婦人たちは農村らしい特色をいかした料理に腕をふるいました。伝承活動と世代交流会をいっしょにした今回の催しは、長老たちの役割がまだまだじゅうぶんある、生きがいのある村づくりにつながっていきそうです。

2月・3月

合併号

1981

すくすくやかに育て！蓬田っ子

地域連帯の輪を広げるPTA活動を



全国的に青少年の非行が増加し、しかも低年齢化の傾向があります。当村でも、青少年の非行、車による事故の発生などで例外ではありません。

特に今年は、昨年の大凶作に伴い、ますます父母の働く時間が増え、家庭指導の弱体化が予想されます。

このような中で、「青少年の健全育成とPTA活動」をテーマに、去る二月八日、第三回蓬田村連合PTA研修会が開かれました。会場の中央公民館に集まった百五十名を越すPTAの方々は、むらの子どもを現実を直視し、その原因を確かめ、どんな対策をたてていくべきか意見を出しあったり、助言に耳を傾けました。

今回の研修会では、①学校現場の生徒指導の立場から ②小学生を持つ親の立場から ③中学生を持つ親の立場から ④高校生を持つ父母代表として ⑤地域社会の中で、子ども会や婦人会活動をしている立場から それぞれ意見を出しあうパネル討議を行いました。この研修会を始めてから三年めとなり、『実践活動のできるPTA』を目指し、年々成果をあげています。

○パネラー 笹 武志
(蓬田中学校生徒指導主事)

食生活と 子どもの体力

みなさんといっしょに考えてみたい、中学校生徒の実態を述べてみます。これはもう、明日からでもぜひ取り組んでいただきたい問題です。

泳いで骨を折ったという話があります。これに近いことが蓬田にもあります。体育の時間ハードルにチョコッと触れただけで骨を折る。遊んでころびそうになり、手をついたら骨が折れた。米はある、野菜はある、海もある。食生活に恵まれた環境の中で、実際このようなことがあります。

朝学校へ来れば『腹、イデ』

という、胃腸の悪い子が半数以上です。小学校のころを聞けば、日曜、休日のほとんどはラーメンですませたということです。

蓬田に来て、初めて知った病気があります。激しい運動をやる時、途中でヒステリー症状をおこす子がいます。これには、全身ケイレン、硬直が伴います。

昨年、運動能力テストをやりました。五種目のうち、二種目が非常に劣っています。ハンドボール投げと懸垂力。検査できない数字。これはある基準までいかない検査不能の体力ということです。蓬田の子は体格も小さく、やせていて、体力的に劣っています。

●偏食の多い子どもたち

偏食がものすくすく多い状態です。学校では必ず食べさせます。ところが家へ帰れば、きらいなものは全く食べなくても、家庭

は気にかけていないのか？海どころであって、魚が大きいという子が三分の一あります。野菜きらい、肉きらい。はしを上手に使えない子も三分の一。食事の姿勢が悪く、口を皿へ持つていく大食い状態です。

服装の点ですが、衣類は中学生になると自分で選んで買うようになり。お金はなんぼでも持たせてやる、生徒は流行を欲しがります。まだ子どもたちは判断力がじゅうぶん育っていません。家庭で子どもに買わせても良いものは買わせても、ダメなものとはダメというしつけをしてほしいのです。

●単位PTA活動に力を！

各部落毎の単位PTA活動をやってほしいと思います。中学校にいる間は、ほとんど非行というものはありません。ところが高校へ行ってから、高校を卒



業してから問題が出ています。中学校にいる間は一人一人を大事にし、どこかでいかすようにしています。高校では一人一人の指導を親切にやっってはくれません。そういう子がどこで欲求不満を解消するかといえば、反社会的行動でエネルギーを発散させます。

隣組の地域の親が手を組んだら、パタツと非行がなくなつたという例もあります。一家庭の問題としてではなく、部落ぐるみで取り組む必要があると考えます。

○パネラー 牧野 房子
(小学生を持つ親)

父母校外班と 一冊のノート

働く母親が多くなってきました。その中で、たいへん過保護な教育ママと、反対に子どもから離れ過ぎていく母親がいます。参観日にも、PTA会合にも、家庭教育学級にもほとんど顔を出不さい人がいます。

あるとき、近所の子に勇気を持って注意したら、親に誤解された経験があります。まずはわが子から、わが家庭からと願っています。やはり隣り近所、地域ぐるみで子どもを見ていくという矢先でしたので、ショックを受けました。

小学校で、父母校外班というのを設けてくれました。私のところでは話し合いの結果、一冊のノートに子どものこと、親としての悩みなどなんでも書いてお母さんからお母さんの手に渡していくことにしました。

夏休みのラジオ体操のとき、お父さんでも、お母さんでもだれか必ず同伴し、ノートに書いては回しました。夏休みが終わるころには、見事に母さん方の意見と子どもたちの様子がありありとノートにつづられました。

子どもは、いつまでも母親のコントロールがきくわけでありません。母親としては、将来どんな社会になっても、たくましく生きていける基礎的なものを身につけさせたいと思います。まずは健康であること。子どもが自分の健康を保っていけるようにと考えています。

○パネラー 松本カチエ
(中学生を持つ親)

共働きと 子どもたち

共働きの家庭の朝は非常に忙しいものです。まずは子どもと主人を送り出し、自分も忙しく出かけます。晩方帰ると、子どもたちはよく部屋中散らかしています。そんなとき、思わず小言が出ます。

子どもが何か話しかけてきて、「お母さん忙しいからあとで」とつい言いがちです。子どもは話そうとする腰を折られる

わけて、いくら一番好きなお母さんでも、だんだん何も話さなくなります。特に、保育所や幼稚園児、小学生は、まだまだお母さんがいないと寂しい思いをしています。

お父さんもお母さんもみんな働かなければならない、忙しい時代になっています。それでも、お母さんが仕事から帰ったら、子どもと目を合わせ、ニッコリ笑うと非常に良いと聞きました。家に帰ったら、やさしいお母さん、あたたかいお母さんになりきって、楽しい家庭のふん囲気づくりを心がけていきたいと思っています。





○パネラー 三上十三雄
(高校生の父母代表)

高校生の 非行実態

高校PTAの校外生活指導委員会のメンバーになっています。高校生の非行実態について述べてみます。

主な非行の具体例をあげれば、
飲酒運転・喫煙 百六十七人
夜遊び 九十九人
家出 六十二人
万引き 百八十一人

学校でわかっているのは、非行の二〇%しかなく、裏にはまだまだあります。家出のほとんどは不純異性問題がついており、暴力団にねらわれています。非行を起こした子どもの家庭環境は、両親がそろって裕福であり、単にスリルを味わっている傾向です。

駅前の喫茶店には、高校生もかなり入っています。津軽線の顔もあります。コーヒーそのものに問題はなくても、喫茶店には、チンピラ風の人があつちろしていて、顔見知りになることがあります。これで、デイスコ、亮春、覚せい剤へと転落するケースがたたくさんあり、高校側では、パーラー以外は入ることを

禁じています。

非行のきざしとして、まず服装が変わってきます。スカートの長くなったり、髪を染めたりパーマをかけたり。こういうグループは、仲間意識なのか同じ格好をして歩いています。非行の時期として、期末テスト終了後が危険です。最近では高校生から中学生への影響が心配されています。

○パネラー 二唐美代子
(子ども会、婦人会の
地域活動の立場から)

地域に根ざした 子ども会 ふるさと運動 青年団活動

中学校の部活動と子ども会活動とは深い結びつきがあります。いくら勉強してもスポーツをやっても、心のゆとりがなければよい大人にはなれません。その点、子ども会活動は、自分の余暇を奉仕することにより、思いやりのある子どもを育てる、良い場であると思います。大人もぜひ、奉仕する姿を子どもたちに見せてやってほしいのです。昭和五十五年度は、高校生を対象に「ふるさと運動」が始ま

りました。これは生まれ育った郷土を理解しながら、仲間づくり、地域づくりを目指しているという活動です。これに参加しているむらの高校生が、子ども会ってすばらしいものだ、ある県の研修会で発表したそうです。子ども会のリーダーを経験した子どもが、現在では地域青年団活動で活躍している姿を見るのはうれしいことです。

●悪書追放運動を

最近、蓬田部落でもポルノ雑誌を売り出しています。街頭に自動販売機があるわけで、毎日登校、下校の子どもたちが、その前を通ります。婦人会活動をしている婦人の立場からも、この点、大人として考えてみる必要があります。

昨年の夏、高校生によるバイクの暴走がひどかったという話を耳にしました。実際事故も起きています。バイクの免許は、高校側でするようになっていますが、コソソリ乗り回しているようです。この点、親と子がじっくり対話している家庭は何軒あるのか。事故を起こした子どもでも、責任をとり真面目に働いている場合もあります。ただ暴走族と一言で片付けることなく、大人もその背景を勉強しなければならぬと強く感じています。

討議① 子どもの健康管理と体力

二唐……

現代の子は、「食べることを「歩くこと」が欠けています。給食だけでなく手づくりのものを、蓬田の山の幸、海の幸を活用する運動を展開したらどうでしょうか。バスで通うようになってから倒れだした。じゅうぶん体を動かす遊びも足りないのだから食べれない。胃も小さい。クラス三十八人中四人は保育所の弁当。これでは運動できつくない。ある程度時間がたつと腹がへる。お菓子、ジュースの悪循環で、胃腸を弱くしている。

牧野……

食べ物の子どもの好みにまかせず、手づくりの食事を心がけている。中学校まで歩かせて登校させている。そのようにしたら、ご飯をおいしく食べるようになった。

笹……

学校でパレー部の合宿をしたとき、おやつがないので、ご飯をよく食べた。レバーなどを食べさせたら倒れない。家庭では、おやつの買いためをしらない方がいい。

秋谷……

子どもが学校に来たとき、まだ眠りからさめていない状態。子どもの生活環境、生活様式も問題だ。恵まれすぎた生活にとっぴりつかっている。大脳にも影響する。

討議② 地域ぐるみの取り組み方

三上……

ある高校では、参親日に親子座談会を開いている。子どもたちの考えを知ることでもできるし、親としても考えさせられる問題もある。話し合いの場を広げるためにも、ぜひ蓬田も、小・中・高連携をとった組織づくりが必要だと思

笹……

父母校外班が日誌をやったということ、非常に効果があると思う。青少年健全育成のための村民会議ができると聞いたら、青年団、婦人団体なども協力し全村で組織活動できれば、社会人になつても、大きな問題を起こす人は出ないと思う。タバコ、シンナー遊び、バイク等の問題は、いずれ、中学校、小学校も影響を受けるんじゃないかと心配している。地域ぐるみで知恵を出し合い、取り組みが必要がある。



“親の厳しさ”
を示して
ほしい

助言……沢田年栄
(蓬田小学校校長)

突然倒れるという問題は、ただ栄養だけの問題でなく、その子どもの精神力にも原因があり

●歩く運動。をすすめることは、大いに賛成です。ただし、学校側から「歩け！」とは言えない立場です。みなさんの方から、「歩かせたい」という声が出てきて、はじめて学校側も協

力できるのです。

私は毎朝歩いています。夏の間歩いた子もいましたが、もうやめています。こんなとき、父親の厳しさが足りないと思います。ピンタの話が出ていましたが、学校では体罰やれません。やれるのは親です。お父さん、お母さんが「親の厳しさ」を勇氣をもって子どもに示してほしいのです。

家庭では、最少限のしつけをやってほしい。『はい・おはよう・ありがとう・すみません・どうぞ』や、はきものをそろえる習慣を身につけてほしいのです。



●子どもの
わがまま
●睡眠不足

助言……大沢 保
(蓬田診療所所長)

ます。現代の子はわがままで、このわがままから起きるひとつの症状であります。

この程度がはなはだしくなると、登校拒否に発展します。登校拒否の初期の第一歩といったところででしょうか。その点、子どもをわがままに育てないことがたいせつです。

子どもの睡眠時間を、みなさん考えたことがあるでしょうか。『この番組をみないと寝ない』などといつまでも起きていて、子どもの睡眠時間が守られていません。

これが原因で朝ねぼうをし

す。学校へ行く時間ギリギリに起きてすぐ朝食。起きてすぐ、ねぼけまなこでご飯を食べる子は、そんなにありません。そのため、朝食抜きで学校へ出ます。朝学校へ行くこと、保健室へ胃の具合が悪い、頭がいたいとかけこむ子が非常に多くなっています。

特に小学生の場合、睡眠時間については、じゅうぶん注意を払っていただきたい。骨折のことですが、これは歩くことにより筋力を鍛えれば減ってくることで



ひとりの力
より
地域連帯で

助言……前田安三
(東青教育事務所教育課長)

それぞれの家庭で実践、積み重ねていくことが、現在の非行に対応するあり方だと思いま

す。

最近の非行は戦後第三ピークと言われています。

- ・第一ピーク 昭和二十六年
- ・第二ピーク 昭和三十九年
- ・第三ピーク 昭和五十三年～五十四年

戦後の教育はアメリカの教育であり、それ以前には日本の教育がありました。その中では、学校の教育も家庭の教育も、一本すじの通った日本の教育というものがあったはずですが。

高校進学率は九十二％。この年代は社会に対しても無責任な時代であり、甘えの構造の中で育っています。

一人の力ではどうにもならない時代になってきました。PTA活動は地域連帯の中で、子どもたちの行動に対応していく必要があります。『うちの子に限って、そういうことはありません。』と大人同志が言う時期は過ぎ、意識の切り替えが求められています。

PTA活動こそ、父親、母親が学習しあう、成人教育の場であると考えます。



行政の 立場から

助言……中川信義
(社会教育課長)

子どもがすこやかに育つためには、まず親自身変わっていく必要があります。その点、PTAは成人教育団体であり、学校組織団体というより、社会教育関係団体として位置づけするのが適当です。
笹先生から地域PTA活動という大きなテーマが出ました。

これからのPTAは、この点がないとだめです。活動の方向としては、今までの『聞く・見る・教えてもらう・習う』という立場から『学ぶ・考える・問題をみつける・実行する』というように変わっていくことが必要です。その意味で、小学校も中学校も『動くPTA』にならなければなりません。

地域活動のすすめ方としては、地域の各種団体、関係機関、行政が一体となって取り組まなければ、青少年の健全育成、非行防止はありえないと思います。子どもの体力の件は、計画的、継続的に、学校は学校なり、地域は地域なり、行政は行政なりに考えていかなければ、解決できません。例えば、行政側として

では、村営体育館を建てるとか、スキー場の設置、遊び場を設けるなどの努力が必要かと考えます。教育委員会はもちろん、村段階で解決するとか議会にお願いし解決するなど、社会教育課としても努力します。

●金の管理哲学を……

共働きの問題ですが、今の社会は金がかかります。共働きの当然かと思えます。働くことはいいとしても、金の使い方、金の管理哲学を考えていただきたいのです。

子どもへの金の与え方、物の与え方が過保護であり、忍耐力のない子が増えています。教育委員会で乳幼児学級から、あらゆる学級を開催しています。お母さん方はぜひ学習に参加することを望みます。

補助金が出ましたが、なるべく努力します。

万引きや暴走族の件は、やはり『青少年育成蓬田村民会議』の活動の中で、良い方向を見つきたい。

高校生になれば、非常に行動範囲が広がります。学校側からも地域の側からも目のとどかない時間帯が出てきます。やはり、高校生を持つ父母の会をつくり、学習の中で高校生を理解し、高校生の非行防止につなげたいものです。



蓬田村青年団体連絡協議会
会長 木村 洋一

青年団活動で 地域の見直し

私たちも子どものころ、今までパネラーの方々が言ったような悪い事をしました。窃盗、万引きとまではいなくても、店からこっそり物物持ってきたり、バイクなどで暴走してみたりいろいろあります。

ところが、青年団に加入してからは、自分の意志でそんなことをしなくなりました。というのは、話し合える仲間ができてくるし、地域を見直していかなければならぬと考えるようになったからです。

青年団活動の中で若い者同志みがかあひ、『蓬田村を良くす

るためには、今若者は何をするべきか、若者は村のために何をすることが出来るか。』を話し合うこともあります。

青年団員の顔を見れば、以前いろいろやった人かなりいると思います。しかし、青年団をほめるわけがありませんが、青年団に入ってから、そのような問題を起こす人はいないと断言できます。

これからは、他の団体とも交流を持ちながら、今回出された課題に青年団としても取り組んでいきたいと思えます。

小館遺跡の住人たち

水田の中に浮かんでいるような小館遺跡は、高さ四、五メートルの台地である。大昔は陸奥湾の海水がその岸辺まで達していたらしい。魚貝類にめぐまれ、背後の山野にも食糧となる小動物や果実も豊富だったろう。

小館に住みついた最初の住民は縄文時代後期の人々である。やがて、彼らはどこかへ移動したらしく、この丘の生活は途絶える。そして平安時代、大和の文化が少しずつ津

軽に浸透しつつあったころ、また一団の人々の生活が始まる。大和文化を示す土師器と須恵器、北の文化を代表する擦文土器を用いている。小館遺跡のどこを掘っても、竪穴住居跡とこれらの土器が発見される。

住居跡は、一辺五、六メートルの方形で、地面を三十一、五十センチほど掘りくぼめ、柱をたて、屋根をふき、カマドを築いている。発掘のときには、柱や屋根はくさって残らないので、床の面や柱の穴、カマドの跡だけが発見される。

小館の竪穴は複雑に重複し、ある時間内にくり返し建て直された状況がある。焼けた粘土、灰、木炭とともに、いごの口や鉄滓が出土しているので、簡単な野鍛冶が行われたらしい。炭化した米もかなり出土し、生産の有無はわからないが、コメを知っていたことは確実である。さらに、塩を作るための粗製土器も発見されている。館の南東隅に井戸がみつかった。上部は直径

四ほどで深さは約四・五メートル。底部は方形である。井戸の底から農具と思われる木製品も出土した。

北海道文化と 本州文化の接点

この丘は、台地のつけ根の部分

を人工的に切り、独立した台地を構成している。さらに中央を横断する溝が掘られている。北海道にみられるアイヌのチャシにも酷似する。小館遺跡の特徴は、住居跡が不思議なことに五重、六重に重なり、ひしめき合っていることだ。

住居に適した台地が接しているのに、なぜ小館の人々はたこのようにして暮らさなければならなかったのか。たてこもるといふべきか。あるいは封じ込められたといふべきか。ともかく小館の人々の生活は小館内部に限定された事情があったようだ。理由としては、特殊な職業集団として、あるいは異人種として区別されたとも考えられる。特に後者は擦文文化とアイヌ文化の関連性から注目すべきところがある。鉄、塩、コメなどを北海道の人々と交易するアイヌの人たちだったかもしれない。

岩木川の流入する十三湖に面した丘陵にも、擦文土器と土師器が共存する竪穴郡があり、小館と同年代と推定されている。

日本史上に、大和の力に抵抗した古代蝦夷が、あるときは東北古代史の主役として現れるが、その実体は不明な点が多い。蝦夷と関係のあるアイヌの歴史もナゾに満ちている。この蝦夷やアイヌの文化に対して擦文文化は、地域的にも、年代的にも関連がありそう。それにつけても、小館は北海道文化と本州文化の具体的接点として、貴重な遺跡である。



…… 小館遺跡 竪穴住居跡 ……



転作大豆で 自然食品づくり

中沢地区で取り組んでいる「村づくり運動」では、2月12日に転作作物である大豆を使って、みそと豆腐、納豆づくりの講習会を開きました。当村の場合、自家生産したもので手づくりの加工食品、自然食品をつくる好条件がそろっています。これをじゅうぶん暮らしの中に活用したなら、自給自足できる食品はかなりありそうだと参加した婦人たちははりきっています。



兄の思い出を語る森孝一さん。

兄の遺品 35年ぶりの帰国

昭和20年6月30日、フィリピンのレイテ島で戦死した森正一さんの遺品が35年ぶりに故郷に帰ってきました。遺品として届いたのは、森さんが使用していた小さな赤い表紙の国語辞典です。

この辞典は、アメリカオハイオ州に住むB・カーンズさんという方がNHK職員に託したものです。辞典には森さんの住所、氏名、押印が記されていました。思いがけなく兄の遺品と対面した弟の森孝一さん(阿弥陀川・53歳)は、兄が学校時代いっしょに過ごしたという森村長たちと思い出を語っていました。



雪とのたたかい!

1月29日豪雪対策本部を設置

1月中旬から、青森県はドカ雪続き。わが村でも最高97cmの積雪があり、1月27日に豪雪対策本部を設置しました。各家庭は毎日の除排雪に四苦八苦。このような中で、蓬田村大工組合が一人ぐらしをしている老人家庭の雪降ろしを行い、たいへん感謝されました。



県内初! 「青少年育成蓬田村民会議」を結成

青少年の健全育成を図るには、家庭・学校・地域社会・行政が緊密な連携と協力体制をつくりながら、村ぐるみで取り組める推進母体が必要だという声が出ていました。

このようなかで、県内初の「村民会議」が、二月十四日

蓬田村に組織され、実践活動を進めることになりました。会長に坂本豊道氏、副会長に木村洋一青年団体連協会長、二唐美代子子ども会育成連会長を選んだ後、十五日からさつそく広瀬部落を手に始めに、部落懇談会を実施しています。

親族関係を証明する戸籍

私たちの身近には、親・妻・子など、一定の親族関係にある人がいて、この親族関係から生ずる権利や義務は数多くあります。

たとえば、ある人が死亡すると、その人の配偶者や子どもが相続人になります。このような権利は、親族関係があるから発生するのであり、これらの親族関係の証明が必要になってきます。

この証明をするのが戸籍です。戸籍制度の目的は、日本国民の国籍と親族関係をは握し登録公証するとともに、各種行政施策

の基本となります。

戸籍の編成単位

現在の戸籍は、一組の夫婦とこれと氏が同じ子ごとに作られることになっています。

子が婚姻して夫婦となると、一つの戸籍内に二組の夫婦が同居することになり、戸籍を作る原則に反します。子が婚姻した場合父母の戸籍から除かれて子夫婦について新しい戸籍を作ることになります。

本籍と筆頭者

戸籍の表示は、本籍と筆頭者の氏名で表します。本籍とは、人の戸籍の所在場所をいい、市町村名、土地の名称及び地番号で表します。しかし、実際の居住場所とは直接関係なく、必ずしも住所と一致するものではありません。

筆頭者とは、その戸籍の筆頭（一番目）に記載されている者をいいます。筆頭者が死亡、その他の事由でその戸籍から除かれても、筆頭者の氏名は消除されることなく、本籍とともに戸籍の表示に利用されます。

出生届

出生届は、日本国籍の登録、

親子関係の登録、親子関係以外の親族関係の登録、権利の主体となる始期の登録、名の登録といたうたいせつなものです。

正当な理由がないのに、出生の日から起算して十四日以内に出生届をしないと、三万円以下の過料に処せられます。出生届の用紙は、役場に備え付けてあります。

医師や助産婦が出生に立ち会った場合には、医師や助産婦が作成した出生証明書を出生届に添付しなければなりません。

婚姻届

戸籍は各人の出生から死亡に至るまでの、重要な身分関係の変動を記録するものです。

したがって、各人の身分に關する重要な届出事項は、すみやかに戸籍に反映させなければなりません。そのために、戸籍事務の取り扱いについては、日曜、休祝日、平日の執務時間外に届出があつた場合でも、市町村長はその届出を受け付けなければならぬことになっています。

1. 未成年者が婚姻するときは、父母の同意書
2. 婚姻する当事者が本籍地でないところの市役所や町村役場に届ける場合は、その者の戸籍抄本。



訪問販売

英会話教材の強引な売り込みや、消防署員を装った消火器の押し売りなど、訪問販売をめぐるトラブルは、相変わらず後をたぢません。

こうしたトラブルの多くは、ごく一部の不心得なセールスマンによるものです。

そこでこのような事態を改善するには、まずセールスマンの「体質改善」が第一と、四月から「訪問販売員登録制度」がスタートすることになりました。

この制度は、通商産業省の指導で、社団法人「日本訪問販売協会」が準備をすすめてきたもの

です。登録されたセールスマンには、「IDカード（登録証）」が付され、携行が義務づけられます。もし、登録されたセールスマンと消費者の間で解約のこじれなど、困難な問題が起きたときは、協会の中に設けられた苦情審査機構が仲介、調停に当たります。

一方この制度は、消費者にとつてセールスマンを見分ける目安となります。「IDカード」を持たないセールスマンとは安易に契約を結んだりせず、いろいろなものは勇気をもって断るなど、賢い消費者であることがたいせつです。

さりげない思いやりを

目の不自由な人に限らず、障害を持つている人のお手伝いをする場合は、緊急な場合を除いて、申し出てから行いましょう。

障害者とも



善意の押しつけにならないように、相手の希望をよく確認することもたいせつです。障害を持つ人にとって、何でもされるおせっかいより、それとなく見守ってくれる方がありがたい場合が多いのです。

白い杖は、目の不自由な人の目です。それを妨げるような行動は絶対避けましょう。

保健婦さんの 相談室

ねたきり病人の 看護法(2)

床ずれ

同じ姿勢で長い時間寝ていると、その皮膚が圧迫され、血液循環がわるく、赤くなり、さらに進むと皮膚の組織がくずれてきます。これが床ずれです。

これが便や尿に汚染されると細菌により混合感染を起こし、化膿します。

原因

- 同じ姿勢で長時間寝ている。
- 栄養がとれず衰弱している。
- むくみがある。
- シーツやねまきのシワやまさつがある。

予防

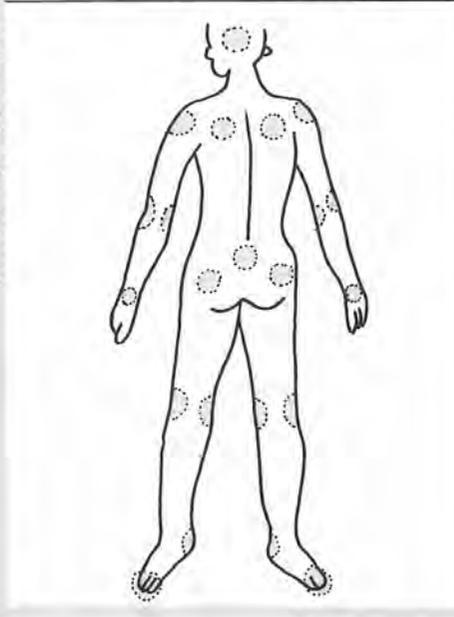
- 便器が当たる。
- マヒにより感覚がなくなっている。
- からだの向きは二時間に一回かえる。
- 床ずれのできやすい骨ばつているところに、当てものをする。
- 排尿便、からだを動かすときに、熱いお湯できれいにふき、マッサージする。
- シーツや寝まきのシワに注意。柔らかないものを使う。
- 食事は食べやすく、消化しやすいものをくふうする。

● できるだけ上体を起こして食べさせる。

手当て

- (皮膚が赤くなっている)
- 熱いタオルで押さえるようにふき、蒸す。
- アルコールでマッサージ。
- よく乾燥させる。
- ヘアドライヤーを使って血行をよくする。
- (皮膚がくずれたとき)
- 医師に見せ、手当方法の指示を得る。

- 手当ての前に看護者はせっけんで手を洗い、清潔に。
- 傷の周囲を熱いタオルで蒸す。
- 消毒やガーゼ交換は、一日一回必ずやる。便や尿で汚れやすいところはそのつど交換。
- 天気の良い日は、床ずれの部分日光にあてる。



たばこ消費税

たばこ消費税は、私たちがたばこを買うときに、たばこの中に含まれています。

たばこ消費税は、村内で消費された、たばこの本数をもとに日本専売公社が村に納めます。

昭和五十四年度中に村内で消費されたたばこの本数は、九百一萬五千二百本。日本専売公社

が蓬田村に納めたたばこ消費税は一千二百四万二千七百円。たばこは村内のたばこ小売店から買いましょ。

所得税の確定申告受付中

所得税の確定申告の時期がやってきました。申告と納税は、二月十六日から三月十六日までです。

期限近くになりますと、たいへん混雑しますので、申告は早めに済ませましょ。

一日一円で家族の安心を

交通災害共済は、界内の市町村で構成している共済組合です。むらの基本台帳に記録されている方は、だれでも加入でき、手続きも簡単です。

(1) 対象となる交通災害は 歩いていて車にはねられたりひかれたり、自転車、荷車、バイクなどの交通による人身事故です。ただし、電車、汽車、航空機、船舶などの事故は含まれません。

(2) 会費(掛金)は ● 一人年間 三五〇円

(3) 加入申込み 三月中に各部落の行政連絡員が、加入申込書をみなさまの家庭に配布します。現在加入している方は三月三十一日で共済期間が満期になります。申込みは行政連絡員と役場総務課で受付けています。

交通災害共済 加入の おすすめ

(4) 共済見舞金の額

被害の程度	等級	金額	
死亡した場合	1	800,000 [*]	
実治療日数 180日以上	入院 180日以上を含む	2	150,000
	入院 30日以上 180日未満を含む	3	130,000
	入院 30日未満 又は入院 なきものを含む	4	110,000
	入院 30日以上を含む	5	80,000
実治療日数 90日以上 180日未満	入院 30日未満 又は入院 なきものを含む	6	60,000
	入院 30日以上 90日未満	7	40,000
実治療日数 30日以上 60日未満	8	30,000	
実治療日数 10日以上 30日未満	9	20,000	
実治療日数 10日未満	10	10,000	



転作田の 団地化と 定着化を 促進

昭和三十六年度から
水田利用再編第二期対策が
スタートします。

私たちの毎日の食卓に欠かせない米。その米を育て、実りをあげてきた水田に、一大転換が進行しています。水田の約二割、やがては三割を目標に、稲から他の作物への転作をすすめる「水田利用再編対策」がそれです。

この対策は昭和五十三年度にスタートし、おおむね十年間にわたる事業として実施されるもので、次のようなねらいがあります。

- ①米の消費減退に対応して、米の生産を計画的に調整していくこと。
- ②食糧自給力強化の中心となる大豆・麦・飼料作物などに転作をすすめること。（これらの作物は、いずれも国内自給率が低い。）
- ③専門的な農家や集団が転作

推進の中心となり、生産性の高い農業経営をめざすこと。これらの内容は、単に米の生産調整だけにとどまらず、明日の日本農業のあり方に深くかかわる避けて通れない課題を含んでいます。

地域ぐるみで 集団転作

「水田利用再編対策」には、昭和四十五年から五十二年までの対策である「米生産調整・稲作転換対策」や「水田総合利用対策」にはななかった、いくつかの新しい仕組みが導入されています。

その中で、最も大きな特色は、「地域ぐるみの集団転作」です。これは集落単位で農家が話し合い、転作田をまとめ、計画的な集団転作を図る制度

● 昭和55年度転作実績

転作目標面積	転作実施面積	目標達成率	転作の内訳						
			特定作物				一般作物等		永年性作物
			小麦	飼料作物	そば	大豆	野菜	その他	
ha 156	ha 160	% 102	ha 51.56	ha 49.56	ha 47.0	ha 4.08	ha 4.6	ha 1.0	ha 2.2

です。

当村でも、各農家に割り当てられた転作面積を、部落毎にさらに検討を加え、農家間の話し合いと調整のもとに、転作田の団地化を目指しています。

転作物はどれも畑作のため、水田で栽培するには排水がじゅうぶん必要です。そのためにも、転作田を一所にまとめて団地化した方が、生産性も高く、転作の定着化を図ることができます。

昭和56年度水田利用再編対策部落別目標仮配分面積 (S56.2)

部落名	対象農家数	水田面積	56年度 転作目標面積	55年度 転作実施面積	増減
中 沢	78戸	17,285 a	2,652 a	1,996 a	656 a
長 科	78	18,778	2,878	1,968	910
阿 弥 陀 川	97	15,889	2,424	1,950	474
蓬 田	95	19,161	2,931	2,725	206
郷 沢	51	9,728	1,490	1,180	310
瀬 辺 地	70	10,694	1,613	1,676	△ 63
広 瀬	92	9,213	1,388	3,805	△ 2,417
高 根	41	7,364	1,124	768	356
計	602	108,112	16,500	16,068	432

団地化加算制度導入

新たに、昭和五十六年度から「団地化加算制度」が導入されます。これには、
①団地を構成する計画実施水田等の合計面積が、三ヘクタール以上の単一団地型
②それぞれ一ヘクタール以上で団地を構成する転作水田の合計面積が、その地区に割り当てら

れた転作面積の三分の二以上を占める複数団地型があります。
団地化加算額は十アール当たり一万円。団地内の作物数は、二ヘクタールまで二作物以内。団地化面積が二ヘクタール以上の場合三作物以内で統一されます。
転作物物の中で、麦・飼料作物・大豆などは国内自給力が低いため「特定作物」と定め、奨励補助金の面でも優遇

が低いため「特定作物」と定め、奨励補助金の面でも優遇

地域振興作物に
夏秋トマトを予定

し、今後とも転作物物の主流になるとみられています。
一般作物の中で、現在その地域で伸びようとする野菜、一種類を指定する「地域振興作物加算制度」があります。
蓬田村では「夏秋トマト」をこれに指定しようと、県と協議中です。出荷時期は八月

▶農業総合懇談会で、第二期対策を検討。



水田利用再編奨励補助金の10アールあたり単価

作物名	55年		56年			57年			
	特定作物 永年性 作物	一般作物	特定作物 永年性 作物	一般作物	うち、野菜	特定作物 永年性 作物	一般作物	うち、野菜	
① 基本額	59,000	44,000	54,000	39,000	34,000	54,000	39,000	34,000	
小計	59,000	44,000	54,000	39,000	34,000	54,000	39,000	34,000	
加算額	② 計画加算	16,000	10,600	6,500	5,000	5,000	7,900	6,000	6,000
	①+② 小計	75,000	54,600	60,500	44,000	39,000	61,900	45,000	40,000
	③ 団地化加算	—	—	10,000	7,500	7,500	10,000	7,500	7,500
	①+②+③小計	75,000	54,600	70,500	51,500	46,500	71,900	52,500	47,500
	④ 地域振興作物加算	—	—	—	—	5,000	—	—	5,000
①+②+③+④小計	75,000	54,600	70,500	51,500	51,500	71,900	52,500	52,500	

から十月。主な出荷先は青森と仙台です。
転作夏秋トマトの配分面積

は、約三ヘクタール。地域振興作物加算額は、十アール当たり五千円です。

「ヤング」 メッセージ No.17



○瀬辺地 (25歳)

木村 洋一

村内において、まだ青年団に加入していない青少年たち。若者たちの輪の中で、互いのエネルギーをぶつけあい、鍛えあおう。

青春ということばには明るさがある。青春と言えば、若さがある。青春と呼べば、前進する力がある。

青春とは、心身がじゅうぶんに発育、成長する時期だ。この時代をどれだけ努力し、充実した日々を過ごしたかにより、自分の将来が意義あるものになるかどうかの、たいせつな時期だと思う。

ただ親のスネカジリのように、

に、自分の思いのまま人の迷惑を考えない、思いやりのない若者が暴走や暴力、非行に走りがちに思える。

熟成された知恵、経験を持つ大人たちは『今のわけものは……』とつぶやいたり、『わけもの何してらば』とよく言う。その言葉の中には、自分も同じような声を耳にしながら青春を過ごした体験者としての大人のいたわりもまた、

青春のトレーニング場



ないように感じる。

青春期、青少年期の肉体的にも精神的にも伸びなければならぬ時期は、やはり大人の理解ときびしさが求められていると思う。今、私たちがそういう青少年にしてやれることは、肉体的よりも精神的な手助けだろうと考える。

青春とは、自らの心身を鍛えるものであり、何よりも自分自身のものである。このたいせつな時期を、あまりにももてあそび過ぎていくような感じがある。

子どもたちは三無主義からさらに五無主義に移ってきた。今の子どもたちは、私の子ども時代と比較にならないほどわがまま、ほしいまま、何でも与えられる生活をしている。このような成長過程が、現在の青少年問題の原因じゃないかと考えている。

私たちの村には、少年から青年、成人へと進む段階で、互いの精神と肉体のトレーニング場として、若者が組織する青年団がある。

趣味と

仲間たち

…ローラーカナリアコンテスト…

2月8日、八戸市で「第25回県ローラーカナリアコンテスト」が行われました。ローラーカナリアは、コロ、コロ…とやさしい美声を奏でる鳴きカナリアです。この大会に、蓬田村から2人の青年が参加し入賞しました。

若鳥の黄の部で細谷靖信さんが4位。若鳥の斑の部で小松国光さんが5位に入賞。県内や北海道、岩手などからも出場し、合計135羽の中から選ばれたものです。

村内で飼育しているのは2人だけのようで、互いに情報交換しながら趣味を楽しんでいます。



▲カナリア飼育小屋での2人(細谷宅)

○リーダーはまとめ役です

子ども会通信 — No. 6

長科子ども会



会長
小山賢治

ぼくたち長科子ども会は、この一年間、あまり特色ある活動はできませんでした。それでも、スポーツへの参加はみんな積極的にやってくれました。結果は、あまり上できるとはいえませんが、野球のときは、子ども会の人数が少ないので、小学校三年生から出してやっと選手をそろえました。そのわけか、どうしてもエラーなどが出て負けてしまいました。駅伝大会でも、上位に入ることができなかったし、卓球大会でも一勝することもできませんでした。でも、その他スキー大会などの行事には進

んで参加しました。ぼくたちの子ども会では、たとえだれか一人のおかげでその試合に負けたりしても、決してその人を責めたりはしません。たとえ弱くても、みんな力を合わせてやっているからです。ぼくたちは十二月二十三日に、クリスマス会をしました。細かい計画は当日になってから立てましたが、それでもみんな、楽しくやれて良かったと思います。あと一ヶ月もすれば、ぼくたち二年生は一年生にバトンタッチすることになります。この一年間活動をしてきて、いろんなことがありました。夏休みのバス旅行のときは、行き先のことや上級生と下級生で意見が食い違いました。こんなときに、上級生のリーダーは、うまくまとめていてほしいと思います。最後に、いろいろな面でぼくたちを助けてくださった世話人のみなさん。本当にありがとうございました。



……ごはんがおいしいぞ！ファミリーキャンプ……

ガンバレ子ども会 No.6



長科子ども会世話人
下山 きみ

長科子ども会は小学三年生から中学二年生までが会員です。その父母全員が世話人になります。世話人会の会長には部落区長になっていただき、子ども会行事の内容によって民生委員、青年団の力を借りてきました。事業計画は連合と合わせて

行動し、大きい行事は夏休み、冬休みの長期休暇間を利用します。毎年スケジュールが多くなります。いろいろな事業をするにしても、世話人の出席が少ないため、思うようにいかないのが悩みです。それにしても、子どもたちは活発になってきました。なんととっても、私たちの部落は他の地区にくらべ子どもの数が少なく、子ども会は競技に参加するにしても、選手をそろえるのにたいへん困難してきました。この一年間、集団活動の中で子どもたちと接触ができ、いろいろな意見を述べあいました。子どもたちには、「積極さ」と「明るさ」と「すなおさ」がみうけられ、感心しています。今後とも子どもたちの健全育成のため、子ども会活動を地域ぐるみでよくみ、ご協力願いたいと思います。

戸籍の窓



(蓬田村の人口：4,531人)

12月・1月受付分

◎お誕生おめでとうございます。

- 坂本 麗夏 (保・長女)
- 青木 幸子 (義勝・2女)
- 東澤 拓 (柳一・2男)
- 太田美紗央 (良一・3女)
- 野藤はる香 (健純・長女)
- 細谷 太一 (剛・2男)
- 藤田 覚子 (理耕・長女)
- 越田真恵子 (昭治・2女)
- 森 喜朗 (喜寿郎・2男)
- 津島 千美 (敬光・長女)
- 佐井由香理 (昭司・長女)
- 伊豫部美環 (良春・長女)

◎ご結婚おめでとうございます。

- (木村 武男 (蓬田))
- (海野三代子 (長野県))
- (木村 泰明 (瀬辺地))
- (石井 啓子 (千葉県))
- (山口 義雄 (埼玉県))
- (田中 厚子 (瀬辺地))
- (三上 哲治 (市浦))
- (佐井 礼子 (高根))
- (武井 政雄 (蓬田))
- (中島 真理 (東京都))
- (堤 天宏 (群馬県))
- (佐藤 契 (阿弥陀川))
- (坂本 国暁 (中沢))
- (遊佐 英子 (北海道))
- (柏谷 稔 (蓬田))
- (一柳とも子 (神奈川県))
- (八戸 和男 (阿弥陀川))
- (宮本 裕子 (今別町))
- (瀧屋 浩 (左堰))
- (川内 尚子 (阿弥陀川))
- (松尾 壽正 (鳥取県))
- (田中 梅子 (広瀬))
- (坂本 登 (中沢))
- (森田 真澄 (埼玉県))
- (坂本 優 (長科))
- (片野美紀子 (北海道))
- (板倉 和正 (埼玉県))
- (田中三枝子 (瀬辺地))
- (中村 良治 (阿弥陀川))
- (小杉 るり (弘前市))
- (登坂 茂 (平館))
- (川田 範子 (瀬辺地))



ぼくたち春から一年生

- ◎中沢** (カッコは保護者)
坂本孝磨(進)・若佐克秀(秀雄)・坂本光磨(廣佳)・桜田真季子(寛忠)・吉田啓子(龍一)・坂本直美(竹利)・坂本晴佳(洋一)・工藤多都子(育夫)・吉田由紀子(常逸)・佐々木央子(京太郎)・三上由美子(春逸)
- ◎長科**
張間大介(勇三)・張間 覚(敏雄)・下山 亨(嘉幸)・小鹿 聡(一男)・藤本 徹(衛)・古川百子(正隆)・藤本由美子(敬)・泉谷奈津子(一博)・小鹿敏子(一男)
- ◎阿弥陀川**
藤本日日出樹(日出丸)・倉谷

- 博幸(米男)・前田朝治(良治)青木志恵子(滋)・森 明美(勝行)
- ◎蓬田**
津嶋健司(康宏)・武井福嗣(金治)・小松圭一(光範)・佐井 皇(修)・小松純子(公)・武井大枝(道秀)・村上尚子(富昭)・武井由喜子(繁雄)
- 田中まゆ子(正二)・三上 睦(永久男)
- ◎郷沢**
福井洋和(武)・細谷 勝(勝成)・福井勇人(公隆)・小松忍(公紀)・福井洋美(文三)・高田睦美(重義)・福井優子(光幸)・今 麻貴子(貞勝)・池田有紀子(敬)

- ◎瀬辺地**
木村 努(彰)・越田美知徳(政憲)・山館 耕(建)・越田恵子(文治)・久慈めぐみ(幸一郎)・工藤清生(正監)・堀奈津江(よし子)・越田ルミ子(長生)・木野田晶子(健二)・木戸淳子(鐵雄)・木村真佐美(昇次)・飯田あゆみ(忠男)・越田笑子(久)・山館珠美(満)
- ◎広瀬**
田中信孝(誠二)・越田 強(政治)・佐々木尚之(秀雄)
- ◎高根**
金谷哲也(輝治)・八幡寿一(一郎)・八幡美香(昭恵)・八幡由香子(稔)・八幡美香子(稔)

- (鈴木 敏明 (岩手県))
- (田中 洋子 (広瀬))

◎お悔み申し上げます。

- 乳井 タカ (82歳・蓬田)
- 八戸 三郎 (87歳・阿弥陀川)
- 高田 みよ (96歳・郷沢)

思いがけなく、「広報よもぎ」特選の知らせがとどきました。「館報逢門」時代からの、たくさんの方々の苦勞を、今思っています。その積み重ねの重みも心に伝わってきます。

これをひとつの節目に、蓬田は蓬田らしい広報テーマのある紙面づくりをしようと決まっています。ぜひ取り上げてほしいというものがありません。どうぞ気軽に声をかけてください。

